



Roots of Kawaii RUNE × OKAZAKI

カワイイ文化の祖

岡崎市出身

内藤ルネ 紹介



1932年、岡崎市羽根町で青果商を営む家の次男として生まれた「内藤功」少年は、10歳の頃中原淳一氏の絵に出会い衝撃を受けました。蒲郡の紳士服店の住み込みで働き始めた頃、雑誌『ひまわり』に再会し、改めてその美の世界に魅了され、岡崎に戻り、毎日絵を描き、社主の中原淳一氏に手紙を添えて送り続けます。その想いが通じ、19歳で東京神田の『ひまわり社』に入社。1950～1960年代にかけて、圧倒的な人気のファッション誌『ジュニアそいゆ』の表紙と挿絵を担当し、大ブレイク。ヴィヴィッドに彩られたキツチュな少女画で古い美少女観をひっくり返し、それまで誰もが見過ぎていた“カワイイの芽”をあらゆるものの中に次々と見出し、命を吹き込み、人々に発信し続けました。彼の残した作品は、1万点以上にも及びます。内藤ルネは時代も性別も超えて乙女ゴコロを魅了するマルチ・クリエイターにして「カワイイ文化の祖」と言われています。



内藤ルネ (1932～2007)

＊「Roots of Kawaii」……………

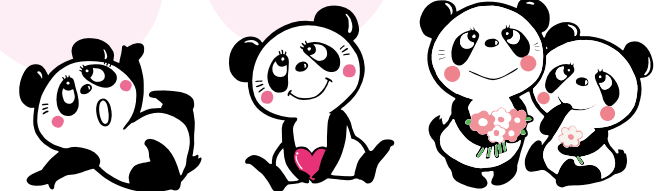
「かわいい」は、古い日本語の意味では「稚拙な」「子どもじみた」的な、ややネガティブな意味合いでありましたが、ルネは「小さくて子どもらしいなら、それはプリティやキュートである」との思いを込め、様々な **Kawaii** キャラクターやデザインを創造しました。



©R.S.H/RUNE

＊「パンダキャラクター」……………

1971年にロンドンの動物園で初めて観たパンダをモチーフに、ルネが世界で初めて描いたパンダキャラクター「ルネパンダ」。翌年、日中国交回復で「カンカン・ランラン」が来日したこともあり、空前の大ヒットとなり、現在も広く愛され続けています。



カワイイに出会えるまち、オカザキ。

2018年度、岡崎市の通年観光ポスターに、岡崎市出身のイラストレーター故内藤ルネ氏のイラストがキービジュアルとして起用され大変注目されています。

そこで、わたしたちは公共施設から更なる郷土の魅力発信と誘客を目指し「色々な“カワイイ”を見つけよう！」を企画開催します。

是非この機会に施設ごとに工夫を凝らした“カワイイ”を楽しんでください。

一般社団法人 岡崎パブリックサービス

色々な“カワイイ”を見つけよう！

開催施設

1 道の駅 藤川宿	66-6031	5 岡崎市民会館	21-9121
2 地域文化広場 親子造形センター	53-3511	6 岡崎市竜美丘会館	24-3951
3 南公園	52-9095	7 岡崎中央総合公園	25-7887
4 岡崎公園	24-2204	8 奥殿陣屋	45-7230